

<参考>

ANA ホールディングスに関わる背景/目的

ANAHD では航空機の安全運航に関する知見を活かし、ドローンオペレーターとして、五島市や福岡市にて無人地帯での補助者なし目視外飛行(レベル 3)による実証実験を行う等、2022 年度のレベル 4 解禁を目標としたドローン配送サービスの事業化にむけて、継続して検証を実施しています。当実証では、ANAHD として初めて固定翼型 VTOL の運航を行うため、SkyLink Japan 協力の元、プロジェクトメンバーが訓練を受け、固定翼型 VTOL の運航を行います。ドローン配送事業化に向けた取組みはこちら。

(<https://www.facebook.com/ANA-Drone-103919601419057>)

武田薬品に関わる背景/目的

武田薬品は、日本に本社を置き、自らの経営の基本精神に基づき患者さんを中心に考えるというバリュー(価値観)を根幹とする、グローバルな研究開発型のバイオ医薬品のリーディングカンパニーです。

当社は持続可能性のある医療環境構築のサポート・醸成は、製薬企業が果たすべき責務の一つと考えています。当実証実験においても患者さんを中心に考えるというバリューに基づき、オンライン診療・オンライン服薬指導およびドローン配送を組み合わせることで、離島にお住まいの患者さんの医薬品アクセスを向上し、地域医療課題の解決に貢献致します。特に今回の実証では、難病症状等により通院負担の大きい患者さんの課題解決を目指します。

また当社はこれまでも医薬品卸と協力し、多くの患者さんに革新性の高い医薬品をお届けしてまいりました。ドローンは、緊急時や災害時の医薬品の配送においても活用が出来、従来の医薬品流通機能を一層強化することが可能なツールの一つです。患者さんの医薬品アクセスを更に改善するものとしてその可能性を期待しております。

長崎大学に関わる背景

長崎大学は 2004 年 5 月、長崎県と五島市による寄付講座「離島・へき地医療学講座」を開講し、離島での活動拠点として長崎県五島中央病院内に「離島医療研究所」を設置しました。また、2013 年 7 月に五島市福江総合福祉保健センター内に「先進予防医学研究所」を設置し、2 つの研究所に計 4 名の教員が常駐して地域医療に関する研究と教育、そして離島の診療支援にあたっています。この研究所が中心となり、五島市と地域の医師会・薬剤師会等の協力を得ながら、集団健診と連携した地域疫学研究や医療情報等の解析・共有に関する研究を進めています。さらに 2018 年以降は、オンライン診療関連の法制度の整備を受け、離島・へき地における医師・看護師・薬剤師の不足をオンライン診療・服薬指導で補う実証実験を施行しています。杵島・黄島間および三井楽・嵯峨島間のオンライン診療・服薬指導は患者さんにも好意的に受け入れていただき、現在も継続中です。また、外注した血液検査の結果をへき地診療所の電子カルテで閲覧できるシステムを開発し、久賀診療所に配備しました。このたびの福江島・久賀島間の実証実験では、久賀診療所、長崎県五島中央病院、ニック調剤薬局の医師・看護師・薬剤師がオンライン診療・服薬指導とドローンによる薬剤・検体輸送を行うための連絡調整を行います。

五島市が当実証に関わる背景/目的

長崎県五島市では、二次離島地域をはじめとした市民の生活の利便性向上を目的とし 2018 年にドローン・Land プロジェクトを立ち上げ、ドローン等を用いた無人物流実証事業を継続して実施しています。これまで、奈留島-前島、福江島-黄島/赤島/嵯峨ノ島間でドローン配送の実証を行い、この間に日用品の輸送に関する関係者との連携構築、また医療従事者との連携構築を行ってまいりました。そして今般、第 4 段となる福江島と久賀島間での実証において、福江島から診療所までをドローン輸送網にてつなぎ、日常や緊急時における活用を検討します。